

令和6年度(令和5年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表
2次評価者

教育部生涯学習課

教育部長 森田 知幸

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
31-1	音楽のあるまちづくり事業	B	音楽のあるまちづくり事業に多く参加し、成果指標の認知度や満足度の高さを押し上げていた固定ファン向けのイベントから、半田市文化芸術推進計画の基本目標「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられるまち」づくりを特に意識した、未就学児も含めた親子で参加できるイベントへの転換を図った。また、生涯学習課独自のSNSを立ち上げるなどイベント情報等の発信にも力を入れ、幅広い層に情報が行き届くような工夫も積極的に行った。それによりこれまでこうした事業になじみがない、参加し難かった層の参加につながったが、その方々からの認知度や満足度の評価を受けたことで、前年度や目標値を下回る結果となった。しかし、成果指標の目標数値に直接プラス反映されない未就学児やその保護者・家族など新たな層の掘り起こしを図ることができた点やその層も含めた幅広い層に的確な情報提供につながることができた点などは前向きな評価として捉えている。	改善推進	新しく取り組む事業だけでなく、従前から行う事業もテーマの設定や実施方法を見直し未就学児も含めた親子で参加できるイベントへと模様替えをしていき、「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられる」機会のさらなる充実を図る。また、こうした視点に加えて、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術事業に触れられるよう、市内の音楽関係者等と連携を図りながら、文化施設内ばかりではなく「まちなか」での事業展開にも力を入れていく。
31-2	文化芸術普及推進事業	B	半田市文化芸術推進計画の基本目標「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられるまち」づくりを進めることを目的に、親子で参加できる「親子向け観劇会」を新たに実施するなど鑑賞型の公演数を増やした。加えて、まちなかでアートを含めた各イベントにおいて体験型ワークショップの要素を積極的に取り入れると同時に、生涯学習課独自のSNSを立ち上げるなどイベント情報等の発信にも力を入れ、対象となる層に情報が行き届くような工夫も積極的に行った。過年度のアンケート等から公演数の増や体験型事業を増やしたものの、成果指標の面で、満足度は対前年度比で10%弱数値を落としていることから、改めて参加者のニーズにあった実施内容かどうかを検証し、見直しを図る必要がある。	改善推進	「子どもの頃から多様な文化芸術に触れられる」機会のさらなる充実を図るため、新たに実施した「親子向け観劇会」を始め親子で参加できるイベントを、ニーズにあったテーマや内容のもので企画し実施していく。また、こうした視点に加えて、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術事業に触れられるよう、市内の音楽関係者等と連携を図りながら、「まちなか」での事業実施に力点を置いた施策展開を継続していく。
31-3	成岩公民館改築等事業	B	小学校区コミュニティの構築に向け、地域の関係者が地域課題を話し合う場をつくるため、市民協働課と連携して「なる小地区 地域ののらみミーティング」(計5回)を実施した。成岩公民館にかわる「地域交流施設(仮称)」について、地域住民との活発な意見交換により、地域の意識醸成を図ることができた。また、同ミーティングと並行し、成岩小学校敷地内に建設する新施設への動線について、成岩第4区の地区役員や成岩小学校関係者、放課後児童クラブ職員とともに議論し、児童の安全面を最優先とした動線を設定することができた。	改善推進	公民館において活動している社会教育団体が、地域交流施設において活動する際の支援内容について検討する。 令和5年度に引き続き「なる小地区 地域ののらみミーティング」を軸に、意見交換における地域住民の思いが反映された新たな拠点のレイアウト等をもとに、新施設の機能、使い方の検討を深め、また、新施設の管理や運営方法についても意見交換を進め、事業の実現に力を注ぐ。

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
課等長	1次評価（令和5年度の総括評価）				
B	半田市文化芸術推進計画で重点施策として位置付けた「音楽のあるまちづくり事業」や「まちなかでアート事業（文化芸術普及推進事業）」を主軸として、計画の基本目標にも掲げる「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられるまち」づくりの推進のため、令和5年度は特に子どもたちが文化芸術に直接触れられる機会の創出や体験型ワークショップ等の事業の充実に力を入れた。また、市報やHPの他、独自のSNSによる広報戦略にも取り組んだ。こうした事業展開により、これまで文化芸術の各種イベント等に参加しなかった、できなかった乳幼児とその保護者・家族などの掘り起こしができた。成岩公民館改築等事業については、公民館に代わる「地域交流施設（仮称）」の建設に向け、小学校区コミュニティ構築への地域の意識醸成を図るため、市民協働課と連携しながら、市の方針を地域に伝え理解を得ることができた。また新施設に求める機能や使い方について、活発な意見交換を図ることができた。				
部等長	2次評価（令和5年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
B	半田市文化芸術推進計画に謳う「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術に触れられるまちづくりに向けた取り組みを着実に進める中、令和5年度は「子ども」に焦点をあてた事業の新設・拡大に取り組み、より幅広い世代が文化芸術に興味・関心を持てる機会づくり、参加できる環境づくりに努めることができた。参加者アンケートの結果などから、新たな掘り起こしに成功したこうした方々のニーズにマッチした内容だったかどうかは検証の余地があり、次年度以降の課題として見直しを図ってきたい。成岩公民館の改築等事業について、公民館に代わる「地域交流施設（仮称）」の建設に向けては、今後市民協働課が主導していくことになるが、新施設の建設を機にこれまで公民館を利用して社会教育活動、生涯学習活動を行ってきた社会教育関係団体などの活動支援をどう継続していくのか、またこれまで公民館が担ってきた地域における社会教育、生涯学習活動の推進といった役割をどう補っていくのかという課題も生じる。地区公民館全体に係る課題と捉え、新施設建設にいたるまでの間に、課題解決に向けた新たな方針を整理したい。				

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	31-1																				
PDCA	主要事業名	音楽のあるまちづくり事業	部課名	教育部生涯学習課	担当 内線	赤坂 23-7341																				
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策：文化の振興と伝承 全体事業期間： 令和 5年度 ~ 5年度 全体事業費等： 11,094 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.01.05.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																				
	事業概要等	事業概要： 令和2年8月26日付で公益社団法人セントラル愛知交響楽団と締結した「半田市音楽文化振興に関する協定」に基づく事業を始め、音楽のあるまちづくりを推進するための各種音楽関連事業を実施する。 事業目的： 新たな音楽文化の創造や醸成を促し、ひとづくりやまちづくりにつなげていくとともに、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与する。 事業内容： セントラル愛知との協定事業（公演事業、小・中・幼・保等でのアウトリーチ・ワークショップ等）の他、多種多様なジャンルの公演等 問題点・課題等： 長期的に継続しなければ効果がはかりにくい事業ではあるが、事業を継続するとともにその効果を把握するよう努める必要がある。																								
	予算額	主要事業とする理由																								
	11,094 千円	市民への質の高い音楽文化の提供を通じて、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現を目指すため。																								
	財源内訳	得られる成果																								
	市費 7,259 千円	新たな音楽文化の創造や醸成が促され、ひとづくりやまちづくりにつながり、心豊かな市民生活と活力ある地域社会が実現する。																								
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態																								
	県費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度</td> <td>実績値 80.1 目標値 80.0</td> <td>71.0 80.0</td> <td>— 80.0</td> <td>% %</td> </tr> <tr> <td>音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度</td> <td>実績値 93.1 目標値 86.0</td> <td>88.3 90.0</td> <td>— 90.0</td> <td>% %</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>実績値 目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度	実績値 80.1 目標値 80.0	71.0 80.0	— 80.0	% %	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度	実績値 93.1 目標値 86.0	88.3 90.0	— 90.0	% %	その他	実績値 目標値			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																					
	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度	実績値 80.1 目標値 80.0	71.0 80.0	— 80.0	% %																					
音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度	実績値 93.1 目標値 86.0	88.3 90.0	— 90.0	% %																						
その他	実績値 目標値																									
3,835 千円																										
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果				評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用																				
	11,047 千円	セントラル愛知交響楽団との協定に基づく委託事業について、固定ファンをもつ従前事業の継続実施から、普段音楽になじみのない、本格コンサートに参加し難い層をターゲットとした事業への転換を図った他、セントラルとの協定に基づく事業以外の事業においても、こうした層の獲得を意識した内容の事業展開を図った結果、認知度・満足度ともに目標値を大きく下回る結果となった。																								
		成果指標																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度</td> <td>実績値 60.8 目標値 80.0</td> <td>% %</td> </tr> <tr> <td>音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度</td> <td>実績値 78.9 目標値 90.0</td> <td>% %</td> </tr> </tbody> </table>						令和5年度	単位	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度	実績値 60.8 目標値 80.0	% %	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度	実績値 78.9 目標値 90.0	% %											
		令和5年度	単位																							
	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度	実績値 60.8 目標値 80.0	% %																							
	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度	実績値 78.9 目標値 90.0	% %																							
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 音楽のあるまちづくり事業に多く参加し、成果指標の認知度や満足度の高さを押し上げていた固定ファン向けのイベントから、半田市文化芸術推進計画の基本目標「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられるまち」づくりを特に意識した、未就学児も含めた親子で参加できるイベントへの転換を図った。また、生涯学習課独自のSNSを立ち上げるなどイベント情報等の発信にも力を入れ、幅広い層に情報が行き届くような工夫も積極的に行なった。それによりこれまでこうした事業になじみがない、参加し難かった層の参加につながったが、その方々からの認知度や満足度の評価を受けたことで、前年度や目標値を下回る結果となった。しかし、成果指標の目標数値に直接プラス反映されない未就学児やその保護者・家族など新たな層の掘り起こしを図ることができた点やその層も含めた幅広い層的な確かな情報提供につながることができた点などは前向きな評価として捉えている。																								
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 新しく取り組む事業だけでなく、従前から行う事業もテーマの設定や実施方法を見直し未就学児も含めた親子で参加できるイベントへと模様替えをしていき、「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられる」機会のさらなる充実を図る。また、こうした視点に加えて、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術事業に触れられるよう、市内の音楽関係者等と連携を図りながら、文化施設内ばかりではなく「まちなか」での事業展開にも力を入れていく。																								
	観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性 妥当</td> <td>④上位施策への貢献 大きい</td> <td>⑦コスト削減 減余地 ※対象・手段の変更</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ 高い</td> <td>⑤成果向上の余地 ある</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響 大きい</td> <td>⑥類似事業の有無 ない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				必要性	有効性	効率性	①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地 ※対象・手段の変更	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない										
	必要性	有効性	効率性																							
①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地 ※対象・手段の変更																								
②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地																								
③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																									

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	31-2																																						
PDCA	主要事業名	文化芸術普及推進事業	部課名	教育部生涯学習課	担当 内線	赤坂 23-7341																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策：文化の振興と伝承 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 5,516 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.01.05.51					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																						
	事業概要等	事業概要： 市民が文化芸術に対する興味を持つきっかけをつくったり、親しみをより深めてもらったりすることを目的に、まちなかや身近な場所で文化や芸術に触れ体験や鑑賞ができる事業を実施する。またそういった文化芸術に関する情報を確実に届ける仕組みを構築する。																																										
		事業目的： 文化による多様な価値観の形成や地域の包括的環境の推進による文化芸術の社会的価値の醸成を図る。																																										
		事業内容： まちなかでアート、半田市美術展、親子向け観劇会等各種公演、文化活動全国大会等出場激励金支給、半田市文化協会事業費補助																																										
		問題点・課題等： 長期的に事業を継続しなければ効果ははかりにくい事業ではあるが、事業を継続するとともにその効果を把握するよう努める必要がある。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	5,516 千円	市民が文化芸術に触れ親しめる機会を提供することを通じて、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現を目指すため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 4,067 千円 国費 200 千円 県費 0 千円	人々の創造性を育み表現力を高め、多様性を受け入れて相互に理解し尊重しあうといった心豊かな地域社会が実現する。																																										
	その他 1,249 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鑑賞・体験事業の満足度</td> <td>実績値</td> <td></td> <td>93.7</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	鑑賞・体験事業の満足度	実績値		93.7	—	%	目標値		85.0	85.0	%		実績値					目標値						実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																							
鑑賞・体験事業の満足度	実績値		93.7	—	%																																							
	目標値		85.0	85.0	%																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
	実績値																																											
	目標値																																											
D 実績 得られた成果と	決算額 4,646 千円	得られた成果 親子で参加できる公演事業の回数を増やしたり、各種事業において体験型ワークショップの要素を積極的に取り入れたりするなど、事業の充実化が実施方法の工夫を図ったが、満足度は対前年度、目標値ともに下回る結果となった。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鑑賞・体験事業の満足度</td> <td>実績値</td> <td>84.7</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>85.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	鑑賞・体験事業の満足度	実績値	84.7	%	目標値	85.0	%																											
成果指標		令和5年度	単位																																									
鑑賞・体験事業の満足度	実績値	84.7	%																																									
	目標値	85.0	%																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 半田市文化芸術推進計画の基本目標「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられるまち」づくりを進めることを目的に、親子で参加できる「親子向け観劇会」を新たに実施するなど鑑賞型の公演数を増やした。加えて、まちなかでアートを含めた各イベントにおいて体験型ワークショップの要素を積極的に取り入れると同時に、生涯学習課独自のSNSを立ち上げるなどイベント情報等の発信にも力を入れ、対象となる層に情報が行き届くような工夫も積極的に行った。過年度のアンケート等から公演数の増や体験型事業を増やしたものの、成果指標の面で、満足度は対前年度比で10%弱数値を落としていることから、改めて参加者のニーズにあった実施内容かどうかを検証し、見直しを図る必要がある。																																										
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 「子どもの頃から多様な文化芸術に触れられる」機会のさらなる充実を図るため、新たに実施した「親子向け観劇会」を始め親子で参加できるイベントを、ニーズにあったテーマや内容のもので企画し実施していく。また、こうした視点に加えて、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術事業に触れられるよう、市内の音楽関係者等と連携を図りながら、「まちなか」での事業実施に力点を置いた施策展開を継続していく。																																										
	観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">必要性</th> <th colspan="2">有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>大きい</td> <td>⑦コスト削減</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ある</td> <td>減余地</td> <td>※対象・手段の変更</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> </tbody> </table>					必要性		有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	減余地	※対象・手段の変更	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない														
必要性		有効性		効率性																																								
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない																																							
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	減余地	※対象・手段の変更																																							
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																							

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	31-3		
PDCA	主要事業名	成岩公民館改築等事業	部課名	教育部生涯学習課	担当 内線	赤坂 23-7341		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 1 単位施策： 学びの推進 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 9 年度 全体事業費等： 473,964 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.02.04.52					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用		
	事業概要等	事業概要： 地域の生涯学習活動・地域活動の拠点となる地区の公民館を、市民が安全かつ快適に利用できるよう、改築または大規模改修により環境整備を行うもの。昭和41年度に建築され、既に50年以上が経過している成岩公民館の改築を実施する。						
		事業目的： 施設の安全性、利便性、機能性を向上させる。						
		事業内容： 生涯学習活動や地域活動の拠点としてより安全かつ快適に利用できるよう令和5年度から新施設建設にとりかかる。						
		問題点・ 地域住民の意見も取り入れながら、公共施設等総合管理計画に基づき事業を課題等： 遂行する。						
	予算額	主要事業とする理由						
	11,261 千円	施設の老朽化が課題となっている地区公民館を順次建て替え等していくことが、地域の生涯学習活動や地域活動の活性化につながるため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費 8,933 千円 国費 0 千円 県費 2,328 千円 その他 0 千円	施設の安全性と機能性、利便性が高まり、多世代の利用が促進されることにより生涯学習活動や地域活動の活性化につながる。						
		目標値や目指すべき状態						
	安心・安全に利用できる新しい建物を予定通り建設する。							
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果				評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用		
	11,008 千円	公民館に代わり、小学校敷地内に「地域交流施設（仮称）」を設置する市の方針に基づき、成岩第4区の関係者をはじめとした成岩小学校区の住民とともに、新施設に求める機能や使い方を活発に意見交換し、今後の展望を共有することができた。また、意見交換を重ねることで市の方針に対する地域の理解を得ることができた。						
		成果指標						
	安心・安全に利用できる新しい建物を予定通り建設する。							
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 小学校区コミュニティの構築に向け、地域の関係者が地域課題を話し合う場をつくるため、市民協働課と連携して「なる小地区 地域の未来ミーティング」（計5回）を実施した。成岩公民館にかかわる「地域交流施設（仮称）」について、地域住民との活発な意見交換により、地域の意識醸成を図ることができた。 また、同ミーティングと並行し、成岩小学校敷地内に建設する新施設への動線について、成岩第4区の地区役員や成岩小学校関係者、放課後児童クラブ職員とともに議論し、児童の安全面を最優先とした動線を設定することができた。						
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 公民館において活動している社会教育団体が、地域交流施設において活動する際の支援内容について検討する。 令和5年度に引き続き「なる小地区 地域の未来ミーティング」を軸に、意見交換における地域住民の思いが反映された新たな拠点のレイアウト等をもとに、新施設の機能、使い方の検討を深め、また、新施設の管理や運営方法についても意見交換を進め、事業の実現に力を注ぐ。						
	観点別評価	必要性		有効性			効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ※対象・手段の変更	ない			
②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない				
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない						